

まちがみえる、
ひとがつながる。



01

隔月発行

2009年11月号

「いいじやん通信」は、掛川市の地域SNS「e-じやん掛川」で発信されたインターネット上の情報の中から魅力的な情報をピックアップし、より多くの皆さんにお知らせするための情報誌です。

はじめまして!「いいじやん掛川編集局」です。

■「いいじやん掛川編集局」が開設されました。

掛川市とNPO法人スローライフ掛川では、地域SNS「e-じやん掛川」を活用した地域活性化事業を協働で行うことになりました。10月1日からは運営事務局「いいじやん掛川編集局」が動き出し、掛川周辺の面白い情報、イキイキした情報、素敵な情報を集約し、

魅力ある情報発信をしていきたいと思っています。今後、「e-じやん掛川」のリニューアルも予定していますので、ぜひ一度、のぞいてみてくださいね。



■「e-じやん掛川」ってなに?

掛川市と市民が運営する地域SNS(ソーシャルネットワークサイト)で、インターネット上のサイトを使って、情報発信や情報交換ができる仕組みです。個人で日記や写真を公開したり、コミュニティという場をつく

り、同じ趣味やテーマを持つ仲間と出会ったり、話し合ったりします。サークル活動などの連絡ツールとしても使われています。

災害時には「災害用画面」に切り替わり、緊急情報の発信や安否情報を発信することができます。8月11日の駿河湾を震源とする地震では、市内各所から多くの書き込みがあり、「実家近くの様子がわかった」「断水の状況を知った」「給水車が来たことを知った」などの声が上がりました。



■スタッフ紹介

10月1日から、河住、杉山の2名が「いいじやん掛川編集局」のスタッフとなりました。情報収集や取材活動を通じて、多くの皆さんと出会う機会があると思います。どうぞよろしくお願いします。

「いいじやん掛川編集局」の河住と杉山
「ここを見れば、掛川の面白い情報、素敵なお話、知りたい情報がわかる、そんな『e-じやん掛川』になるよう頑張ります」

『e-じやん掛川』から面白い記事をピックアップ

「駿河守さんの日記」より

2009年10月14日(水) (T_T)天浜線の有人駅が無人化!

http://e-jan.kakegawa-net.jp/modules/diary_view.phtml?id=282112&y=2009&m=10

天竜浜名湖鉄道のホームページに、「桜木・原谷など市内4駅の無人化、その他4駅の営業時間短縮」が発表されていました。



駅舎自体は残るのでしょうけど、駅員さんのいない駅はなんど寂しいものですし、駅舎自体も今までどおりの管理が期待できるかどうか分かりません。いたずら書きや、ガラス割りなどの心無いいたずらで駅舎が急速に荒廃してしまう可能性も考えられます。二俣線時代から長く使われてきた駅舎は、天浜線だけではなく今や地域の重要な財産であると思います。会社の経営は大変なんでしょうが、駅員がいなくなるこの先も大切に管理してほしいと思います、

駿河守さんの日記には、多くのコメントが寄せられました。
「高校時代には私も桜木駅を利用していました」「サイクリングで原谷駅に行きました」「駅員さんとの会話が楽しみ」「風情ある駅舎が好きです」今後、「いいじやん掛川編集局」でも天浜線に注目し、「各駅に降りてみる」などの企画記事などを考えていくと思います。

「景観シンポジウム」トピックより

http://e-jan.kakegawa-net.jp/modules/topic/topic_view.phtml?id=282230&grpcd=143400



2009年10月16日、「掛川市景観市民講座~景観シンポジウム~」が行われました。会場には120人を超える市民の皆さんのが訪れ、景観を「暮らす人」「訪れる人」「営む人」の視点で捉える講演、シンポジウムに耳を傾けていました。掛川市では市民の皆さんの意見を景観計画に生かしていくこと、アンケートを集計しています。「e-じやん掛川」でも、景

観シンポジウムについての意見、感想を自由に書き込める場をつくり、様々な意見が寄せられました。

「市内の名所について、自分はいくつエピソードが語れるかなと思いました」「地元の人々の活動、思いの物語が蓄積された風景が、その物語を語る人によって良い景観になる。そんな風に理解しました」

西郷小学校では、 子どもたちの様子をいち早く情報発信!

● 「e-じゃん掛川」だからできる、細やかな情報発信

西郷小学校では「e-じゃん掛川」内に「掛川市立西郷小学校の公式コミュニティ」を立ち上げ、日々、先生方が子どもたちの様子を発信している。

10月28日に行われた「キラリ!ふれあいコンサート」では、4年担任の藤原誠先生によって、発表の様子だけでなく、前日までの練習風景や「4年生を励ます会」の様子も伝えられ、保護者の方から多くの「拍手」が寄せられた。「拍手」とは、その内容に共感したり応援したいと思う人が、気持ちを「拍手」という形で意思表示ができる「e-じゃん掛川」上の仕組みだ。

10月2日からスタートして1ヶ月、情報担当の平柳有紀子先生を中心にインターネットを活用した情報発信を進めてきた。教務主任の平川由加里先生は、その効果についてこう語る。

「今まで学校からのお便りの中で、行事の様子をお知らせしていました。でも、行事が終わったあとにその様子をお知らせするだけでなく、準備段階の様子も伝えたいと思っていました。『e-じゃん掛川』は、職員が気軽に発信できるのがとってもいいですね。行事当日は子どもたちのがんばりの集大成ですが、準備段階のがんばりも大切な積み重ねですから、それが保護者の皆さんに伝わるのが嬉しいです」



「キラリ!ふれあいコンサート」の練習風景

● 子どもたちの様子をリアルタイムで伝える

校長の小松洋先生は、「子どもたちの様子を毎日発信したい」と考えていて、通常のホームページでは専門知識のある人でなければ記事をアップすることができず、先生たちがみんなで、簡単に、毎日でも情報発信できるようなツールはないかと考えていた。

「そんなとき、掛川市の地域SNS『e-じゃん掛川』を知り、掛川市の担当課の方々も後押ししてくれました」と平柳先生。学校のホームページからのリンクも手がけた。

「e-じゃん掛川」での情報発信は、保護者向けのアンケートの中でも期待の多かった「子どもたちの日々の様子を知りたい」「取り組みの過程を知りたい」という要望にも応える形となった。

先生方からは、「操作が簡単」「タイムリーに発信できる」「拍手が嬉しい」などの声が寄せられている。平柳先生は、早速、ならここの里で行われた原泉小学校との交流会で、その様子を携帯から写真と記事を投稿した。「うちの子は、楽しく活動しているかしら?」と心配する保護者の皆さんへ子どもたちの「今」を伝えることができたと、喜びを話してくれた。

事前に保護者の皆さんとの了解を得るなど準備段階での配慮によって、写真についてもリアルタイムでの発信を可能にしている。

● 見てくれる人の「拍手」に励まされて

「掛川市立西郷小学校の公式コミュニティ」で情報発信することは、教頭の窪野清先生によって10月23日号の学校便り「ふたごやま」で紹介された。お知らせしたこと、記事の「拍手」一気に増えた。記事は、子どもたちのイキイキした様子が臨場感をもって語られ、同時に先生方の「子どもたちのがんばっている様子を伝えたい」という想いがあふれている。

立ち上げたばかりのころ、校長先生がページを開く度に「拍手」のボタンを押していたと、平川先生は笑ってこっそり教えてくれた。きっと、がんばっている子どもたちへの応援の気持ちと、記事を書いた先生方へのねぎらいの気持ちを込めてのことだろう。11月後半には、6年生の修学旅行もある。校長先生は、携帯から記事をアップする方法を勉強中だ。

西郷小学校では、子どもたちの「今」や「がんばり」を伝えるためのツールを手に入れ、日々、取り組みの様子を発信している。



お話をくださった平川先生

INFORMATION

新コミュニティ「まち本!」はじめます。

「いいじゃん掛川編集局」がまちに飛び出し、まちのあれこれを取り材します。どうぞお楽しみに!

- 掛川イベント情報
- 市民記者コーナー
- まちで見つけたあんなこと、こんなこと
- [シリーズ]掛川がんばる人の輪
- [シリーズ]掛川発:お仕事アラカルト
- [シリーズ]チャレンジ! 掛川検定36景
- 「e-じゃん掛川」活用法

「ライブ!いいじゃん」を開催します!

「e-じゃん掛川」の楽しい使い方や有効な活用の仕方を学びながら、掛川のあれこれを情報交換し、交流し合う場です。「e-じゃん掛川」を知らないても、パソコンを持たなくても大丈夫ですので、お気軽にご参加ください。掛川を楽しく語り合いましょう!

- 開催日時 第3火曜19:00~20:45
掛川市竹の丸にて ※入場無料
(今年度の予定:11/17・12/15・1/19・2/16・3/16)

「e-じゃん掛川」 こんな使い方、知ってる?

●友人・知人・気になる人を探したい!

友だちが「e-じゃん」に登録してるって聞いたんだけど…。自分と同じ趣味を持つててる友だちを作りたいんだけど…。でも探し方が分からない! そんな時は「メンバー検索」をクリックして、調べたい項目にキーワードを入力してみてください。公開されているプロフィール内容から、その条件に合ったメンバーが発見できます。

●編集後記

畠づくりの講座を受講して2年目、地べたに座る心地よさを感じています。SNSやITといった、いわば時代の先端を行くファストなシステム「e-じゃん掛川」だからこそ、地べたに座る感覚を大切に、この仕事に関わっていこうと思います。(河住)

【発行・お問い合わせ】

いいじゃん掛川編集局

〒436-0091 静岡県掛川市城下1-5,1F
NPO法人スローライフ掛川内
TEL 0537-22-0654 FAX 0537-22-0786
sns@slowlife.info http://www.slowlife.info/

■「e-じゃん掛川」の登録はこちらから

「e-じゃん掛川」
<http://e-jan.kakegawa-net.jp/>

■「いいじゃん掛川編集局」の取材記事はこちらから 「まち本!」 <http://e-jan.kakegawa-net.jp/c.phtml?g=143682>

■市民記者さんの取材記事はこちらから 「市民記者コーナー」 http://e-jan.kakegawa-net.jp/c.phtml?g=143838&uri=%2Fmodules%2Fsearch%2Fcommunity_search_input.phtml